公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和7年7月　発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港１-１

2025 夏号

花の美術館がリニューアルオープン！

稲毛海浜公園リニューアル事業の一環で、花の美術館が世界で活躍するフラワーアーティスト「HIKARU SEINO」氏の全面プロデュースにより、「BOTANICA MUSEUM」（ボタニカミュージアム）に生まれ変わりました!

音や光、香りなど五感で楽しめる芸術性を高めた展示や、頭に花を飾るHANANINGEN（ハナニンゲン）などの特徴的なコンテンツが楽しめます。

なお、併設されたレストランでは、食事を楽しむことができるほか、初の取組みとなる夜間営業も開始となり、ライトアップされた花の芸術も鑑賞していただけます。

今後は、2階部分を活用した魅力ある展示なども検討されており、稲毛海浜公園が賑わいのある海辺のスポットとして、さらに魅力ある公園となるよう推進してまいります。

色とりどりな花が楽しめる温室棟前の中庭にて

エントランス付近

「BOTANICA MUSEUM」の詳しい情報はこちら▼

映像通報システム（Live119）

昨年5月に運用開始された映像通報システム（Live119）は、スマートフォンからの119番通報で現場と消防をリアルタイム映像でつなぐシステムであり、通報者は映像を送信することで、言葉では伝えられない現場の詳細を明確に消防へ伝えることができます。

このように、Live119は救命率の向上につながる非常に有効なシステムであることから、令和6年第3回定例会で、市民への広報を積極的に行うよう要望し、今回はその取組みの現状について視察しました。

千葉市のホームページ、各種SNSや市政だよりへの掲載、各種イベント時に広報リーフレットの配布や、市役所、区役所及び市民センターにおけるデジタルサイネージを活用した周知啓発が実施されています。

また、使用状況は、令和6年度は20消防本部で135件（うち千葉市は21件）、令和7年度（6月末時点）は、20消防本部で48件（うち千葉市は6件）となっています。

ちば消防共同指令センター内

スマートフォンの操作方法の説明を受けました。

道路冠水による車両の水没等の防止強化！

① エアー遮断機
（中央区村田町　村田町 JR 内房線地下道）

昨今の大雨や台風に伴い、道路冠水被害が顕著になってきており、特に地下道に関しては、周辺よりも低く、急激に水位が上昇しやすいため、通行注意などを表示する「道路情報板」などが設置されているものの、道路冠水に気づかずに進入し、車両が水没してしまう事故などが全国各地で散見されています。

また、対応につきましても、通行止めの措置における資機材の配備に時間を要することや、豪雨時に人手による交通誘導が見えづらいなどの課題がありました。

このような中、市議団では、道路冠水における対策強化について強く要望してきたところであり、現在、比較的冠水が起きやすい市内2カ所の地下道においては、物理的に通行を遮断し、迅速かつ視認性に優れた「エアー遮断機」（写真①）が設置され、これに加えて、本年3月には、交通量が多い「蘇我町線地下道」と「新港穴川線地下道」の2つの地下道において、手動で開閉することができる「交通遮断機」（写真②）が新たに設置されました。

今後も、道路冠水対策のさらなる強化を推進してまいります。

② 交通遮断機
（中央区蘇我４丁目　蘇我町地下道）

2025年 第2回定例会 公明党市議団の代表質問から

障がいのある人もない人も地域で自分らしく暮らせる仕組みづくりについて

障がいのある人もない人も地域で自分らしく暮らせる仕組みづくりについての基本的な本市の考え方と、今後の取組みの方向性について質問しました。

千葉市聴覚障害者協会のみなさんと記念撮影

市長からは、「障害の有無に関わらず、市民や事業者が当たり前に意思疎通を図れるよう、手話の普及促進や、障害特性に応じたコミュニケーション手段の確保などを推進するほか、障害のある方と企業をつなぐ機能の強化や、障害特性の理解促進など一般就労の支援とともに、障害者就労施設からの受注機会の拡大のため、市の優先調達や、障害のある方が制作した製品を、市内事業者や市民が積極的に購入する「チャレンジド・フェアトレード」の推進などの福祉的就労の支援に取り組む。」旨の答弁がありました。

なお、今定例会では、「手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例案」が、可決・成立され、議会の傍聴にお越しいただいた、聴覚障がいのある方や、通訳の方などの皆さんと、条例案の可決・成立を記念して、写真をご一緒させていただきました。

市議団では、今後も障がいの有無にかかわらず、地域で自分らしく暮らせるよう、相互に尊重し、分かり合える共生社会の実現を推進してまいります。

また、本年11月には、耳の聞こえない・聞こえにくい人がスポーツで競う国際大会「東京2025デフリンピック」が、東京で開催されます。

代表質問では、大会ビジョンの一つである「“誰もが個性を活かし力を発揮できる”共生社会の実現」に向け、デフリンピックに関する広報周知の充実や、市主催のイベント等では可能な限り、手話通訳などを活用したコミュニケーション手段の確保を求めました。

防災・減災対策の強化！

市議団では、学校体育館のエアコン設置や災害時のトイレ体制の整備など避難所環境の改善および運営支援の強化、個別避難計画の作成推進、分散避難やペット同行など多様な避難体制の構築を要望してまいりました。

パネル式構造のパーティションとマンホールトイレ

また、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示すスフィア基準に対応すべきとも考えており、昨今の避難所環境改善のパッケージ化の視点として、清潔なトイレの（T）、温かい食事を提供するキッチンの（K）、熟睡できるベッド（B）など、いわゆる48時間以内に避難所の環境改善で提唱されるTKB48についての準備状況及びパッケージ化に向けての本市の見解について質問しました。

市長からは、「現在のビニール式のテントに加え、悪天候の中でも安全に使用できる、堅牢なパネル式の構造となっている上屋の整備も進めており、今年度は、172か所の指定避難所に1基ずつ整備する予定であり、また、食事環境としてキッチンカー関連団体との協定、就寝環境の改善として段ボールベッドや間仕切りのパーティションの備蓄を進めている。」旨の答弁がありました。

市議団の提案で、平成20年度から小中学校に計画的に整備が開始されたマンホールトイレは、全市立小学校166校への整備が完了し、令和9年度までに市内の県立高校22校への設置、さらに、公民館、コミュニティーセンターへの整備も検討が進められています。

これからも、災害に強いまちづくりを強化推進してまいります。

Topic ヒップホップダンサーが学校にやってきた！

学校巡回公演は、子どもたちに本物の文化芸術を届け、豊かな感性を育んでもらうことを目的に文化庁が主催する公演で、全国各地の公私立の小中学校、義務教育校、特別支援学校等で実施されております。

6月23日、その巡回公演の一環で、ヒップホップダンスを手掛けるNPO法人による公演が市立登戸小学校で開催となり、当日、リハーサル風景（写真）を市議団で視察しました。

子どもたちの感想からは、「本物のプロのダンスを見られた。」「熱狂した。」「体が震えるほど感動した。」など、目の前の迫力あるダンスに大興奮した様子が伺えました。

本公演は市議団の提案によるものであり、これからも子どもたちへの文化芸術体験活動の推進として、芸術に触れる機会の確保や学校における文化活動を推進してまいります。

リハーサル風景

所属する委員会の紹介

常任委員会

総務委員会		保健消防委員会		環境経済委員会	教育未来委員会		都市建設委員会
桜井秀夫（稲毛区）	茂呂一弘（花見川区）（副委員長）	酒井伸二（中央区）	石川美香（花見川区）	森山和博（中央区）	青山雅紀（若葉区）	吉川英二（緑区）	伊藤康平（美浜区）

議会運営委員会
森山和博・桜井秀夫

特別委員会
- 大都市制度調査特別委員会：酒井伸二・吉川英二（副委員長）
- 防災・減災対策調査特別委員会：森山和博・茂呂一弘
- 広報委員会：石川美香

尚、公明党市議団から千葉市監査委員に青山雅紀議員が選出されました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください！

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 FAX.043-245-5584 https://chibakomei.com/